

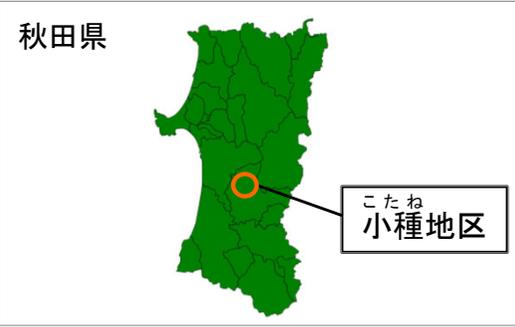
【秋田県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
大仙市	小種	9割の農地集積・高収益作物の導入・野菜加工で周年雇用を実現	1	H28.06	1
大仙市	仙北平野・中仙中央	園芸農業への転換を通じたコメ依存の経営からの脱却	2	H28.12	2
秋田市	平沢	「あきた型ほ場整備」で華咲く地域農業の未来	3	H30.03	4
鹿角市	花輪	高収益作物の生産拡大と女性部主体による取組等で地域を活性化！	4	R元.12	6
能代市	轟	「あきた型ほ場整備」による高収益作物の販売額向上と雇用創出	5	R3.03	7
横手市	横手西	基盤整備を契機としたスマート農業導入による経営拡大	6	R4.03	8
鹿角市	末広	基盤整備を契機とした「ねぎ」のブランド産地化に向けた取組	7	R5.03	9
北秋田市	高野尻	スマート農業の導入による農作業の省力化に向けた取組	8	R6.03	10
由利本荘市	松ヶ崎	スマート農業導入による複合経営の拡大と農地保全体制の確立	9	R7.03	11
秋田県全域		秋田県全体で取り組む土地改良区における男女共同参画の推進	10	R7.03	11

【工夫のポイント】

- 基盤整備を通じて **9割の農地を法人に集積し、省力化を図るとともに**、ブロッコリー等の**高収益作物を導入**。
- **企業との契約栽培**により安定した品質で**特別栽培米を出荷**するため、**GAPを取得**。
- **法人自ら野菜加工**に取り組み、地域の**周年雇用も確保**。

【取組地域の概要】

- 位置 だいせんし
秋田県大仙市(過疎等)
- 
- 主要作物
・水稲、大豆、ブロッコリー等
 - 主な支援施策
・県営経営体育成基盤整備事業(H13~H22)
・多面的機能支払交付金(H19~)
・強い農業づくり交付金(H17)

基盤

水田の区画整理・汎用化によるコストダウンと高収益作物の導入

不整形な農地の区画整理や排水改良を通じた大型機械の導入により大幅な労働力の軽減が図られ、**創出した労働力によりブロッコリー、ネギ、キャベツ等の高収益作物を導入**。



基盤整備 (H13年~H22年)

【整備前】

不整形かつ狭小なほ場であり、高齢化・後継者不足に伴い耕作放棄地が増加。**用排兼用水路のため、排水性も悪く、畑作物の作付に支障**が生じていた。



生産現場

減農薬等による米の高付加価値化



- 減農薬・減化学肥料による**高付加価値の特別栽培米**を、企業との間で**契約栽培**。
- 大規模経営とGAP取得によって、必要な生産量の同品質での確保を実現。

加工・流通

自社生産野菜の加工で雇用を創出



- 農事組合法人自らが自社生産野菜を活用した**野菜加工**に取り組み、**周年での地域雇用の確保**を推進。

担い手

9割の農地を法人に集積



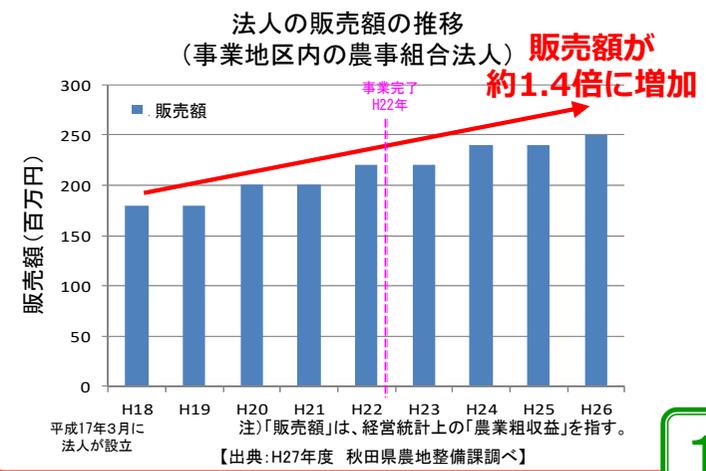
- 基盤整備面積の**9割を法人へ集積**しつつ、多面的機能支払により営農を下支え。

経営規模の拡大や高収益作物の導入等による法人の販売額の増加

- 基盤整備によって生み出された労働力を活かして**高収益作物の導入**や**高付加価値化**を目指す農業生産に取り組み、**地区内の法人の販売額増加**を実現。



特別栽培米の契約栽培



【工夫のポイント】

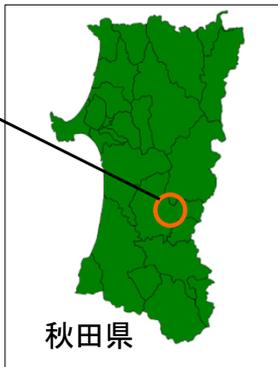
- ほ場整備事業と併せて園芸メガ団地を整備。**ハウスによる大規模なトマト栽培**により、園芸産地形成に寄与。
- 園芸農業の振興拠点である**園芸振興拠点センター(出荷施設)**による**市場情報の把握**により、消費者の求める高品質な商品の提供、出荷先への定時・定量供給等を可能とするなど、ブランド化の確立にも取り組む。

【取組地域の概要】

- 位置 だいせんし
秋田県大仙市 (過疎地域等)

(国営かんがい排水)
せんぼくへいや
仙北平野地区

(ほ場整備)
なかせんちゆうおう
中仙中央地区



- 主要作物
・水稻、大豆、トマト、枝豆、アスパラガス等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(S44~S60)
・農地集積加速化基盤整備事業(H24~H30)
・園芸メガ団地整備事業(H26~H27)
・強い農業づくり交付金(H27)

基盤

農業用水の安定供給とほ場整備による高収益作物の導入

用水路等の整備によって用水の安定供給を図るほか排水路の改修により**湛水被害を防止**。

また、区画整理や暗渠排水等を通じた水田の汎用化によって園芸品目の生産を拡大するほか、**園芸メガ団地の整備**により、**一大園芸産地を形成**し、高収益な営農へ転換。



基盤整備
(S44年~S60年)

【整備前】

用水系統が複雑であり、かん水に多大な労力を要していたほか、湧水に頼っていた地域では**冷水によって慢性的な冷害被害**が生じていた。

また、地区内の基幹排水路の断面が小さい上に蛇行しており、毎年のように**湛水被害**を受けていた。



生産現場

養液栽培システムの導入によるコスト縮減



- 全農ういずONEシステム(簡易養液栽培システム)による肥培管理方式の導入を通じて**栽培管理に係る労務を軽減し、経営コストを縮減**。

加工・流通

拠点センターによる一元的な集出荷

- 園芸振興拠点センターがJA管内の園芸品目を一元的に集荷。把握した**市場情報をもとに全体出荷量を調整**することで、**機会損失を無くし販売額の増加**に寄与するほか、ブランド化に必要な供給体制を実現。



担い手

集落の話合いに基づく担い手法人の設立



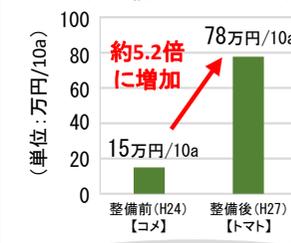
- 地区内の4集落では、**ほ場整備事業の実施を契機に、集落単位を基本とする4法人を設立**。地域農業の担い手として、地区内の農地面積の9割を経営。

高収益作物の導入等による法人の販売額の増加

- 水田の汎用化によって高収益作物であるトマトの生産を開始。市場向けの青果販売に加え、加工用等の業務向けとしても生産しており、**H28年度からの生産の本格化**により、**農業法人の販売額の益々の向上が期待**。

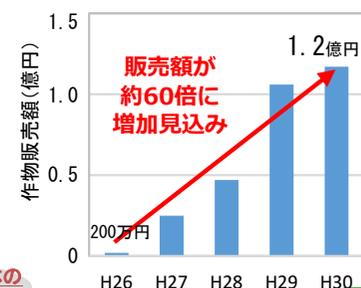


園芸メガ団地の整備による
単位面積当たりの収益性



園芸メガ団地の整備により、**稲作主体の経営からハウスによるトマト栽培へ転換**
【出典：農林水産統計(コメ)、園芸メガ団地整備計画(トマト)】

トマトを生産している2農業法人の
販売額(トマト)の推移【計画値】



【出典：園芸メガ団地整備計画】
注)H29以降は計画値

【工夫のポイント】

- **基盤整備を契機に、農事組合法人「平沢ファーム」を設立**し、地区内農業の担い手となるほか、新たな地域雇用を創出。
- ほ場整備と併せた園芸メガ団地の整備を通じて、水稻に偏重した経営を見直し、**ダリアなどの高収益作物を導入**。生産の本格化による、経営体の収益性の大幅な向上が期待される。

【取組地域の概要】

○位置 あきたし
秋田県秋田市

秋田県



ひらさわ
平沢地区

○主要作物

- ・ 水稻、大豆、ダリア、枝豆、ネギ等

○主な支援施策

- ・ 農業競争力強化基盤整備事業(H25～)
- ・ 園芸メガ団地育成事業(H27～H28)
- ・ 農地中間管理事業(H26～)

基盤

ダリアなどの高収益作物への転換により法人の販売額向上が期待

1ha区画を中心とした区画整理や地下かんがいシステムの整備により、大規模農業や高収益作物の導入が実現。

農地の汎用化により、**園芸品目の生産を拡大**させ、一大園芸産地の形成を目指す。



ネギの収穫



ダリアの栽培

基盤整備
(平成25年～)

【整備前】

昭和5～6年の耕地整理により、10a区画に整備されているが、道路は狭く、用排兼用水路は土水路で、地下水位が高いため、低コスト化や汎用化に支障が生じていた。



整備前のほ場

生産現場

園芸メガ団地で高収益作物の導入を加速化

- ほ場整備の実施と併せて、県の構想に基づき**園芸メガ団地を整備**。水稻に代わり、**ダリア・枝豆・ネギ等の高収益作物を積極的に導入**。
- 高い収益性が見込まれるダリアについては、全国有数の**育種家との連携**による技術習得等を通じて、安定した生産体制の構築に取り組む。



園芸メガ団地のハウス



ダリアの栽培

加工・流通

集出荷施設の計画的な配置

- 団地の整備と併せ、**JAの集出荷施設を地区隣接地に整備**するなど計画的な施設配置により、効率的な集出荷を実現。
- ダリアは、東京や大阪の生花市場を中心に出荷するほか、**JAシステムを通じて海外でも販売**している。



JAの集出荷施設

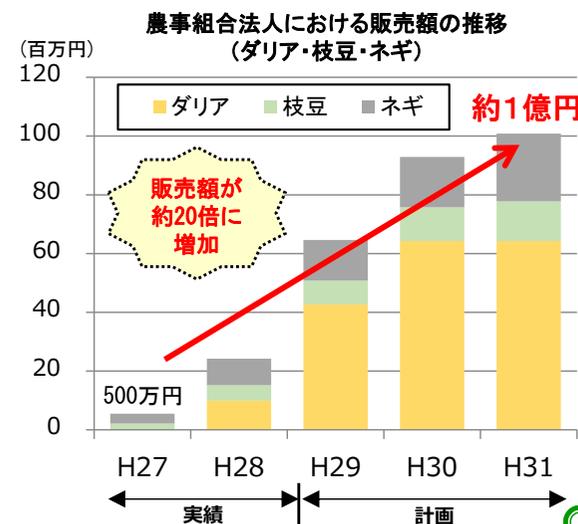
担い手

法人設立による地域雇用(就農者)の創出

- 基盤整備を契機に農事組合法人「平沢ファーム」を設立(構成員77名)。地区内農地の91%を担い手に集積。
- 将来の地域農業の担い手として、**3名を新規採用**。

ダリアなどの高収益作物への転換により法人の販売額向上が期待

- 稲作に偏重した農業であったが、園芸メガ団地の整備を通じて、**高収益作物を組み合わせた複合型の生産構造に転換**。
- 平成28年からの生産の本格化により、**法人の販売額の大幅な向上が期待**される。



【出典：園芸メガ団地整備計画】

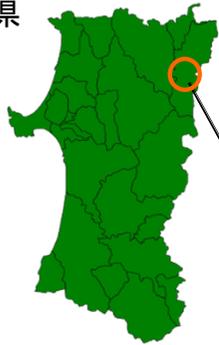
【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に**集落ぐるみの農業を押し進め、法人を設立**。
- 通年での安定した所得を確保するため、機械化による大規模な**えだまめ栽培等、野菜への積極的な取組を展開**。
- **法人「女性部」が主体**となり、農閑期の**野菜加工品の製造・販売等**を積極的に推進し、**集落・地域を活性化**。

【取組地域の概要】

○位置 かづのし
秋田県鹿角市(過疎、特農)

秋田県



はなわ
花輪地区

- 主要作物
・水稲、えだまめ、にんじん 等
- 主な支援施策
・県営ほ場整備事業(H11~H17)

基盤

大区画化と汎用化、機械導入による営農の省力化から経営の多角化へ

基盤整備の実施により、**大区画化と汎用化**が図られ、更には**機械化による営農の省力化**により、**営農の多角化**を実現。



中耕・培土作業



にんじん収穫作業

基盤整備 (H11年~H17年)

【整備前】

地区の**ほ場は10a区画**、**農道は狭隘**で、また、用排水路の殆どが土水路であり、**洗掘や断面不足、漏水**などで**通水能力が不足**していた。



整備前の農道



整備前の水路

生産現場

高収益作物の生産拡大

- 高収益作物のえだまめ、にんじん等の栽培に一から取り組み、**規模を拡大**。
(えだまめ:0ha→22ha、にんじん:0ha→2ha)



にんじんの栽培状況

地域の取組

地域との連携、雇用の場の創出

- 地元高校生等と連携し、**農業体験研修などを通じた情報発信を実施**。
- 構成員の家族を主体とした**非農家を含む地域住民に雇用の場を提供**。



加工・流通

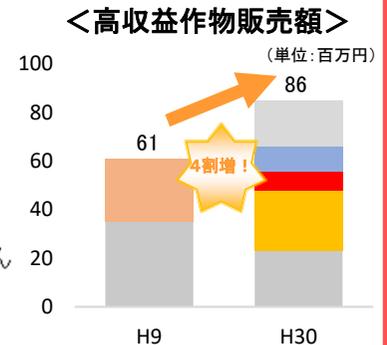
農産加工品の製造・販売を推進

- **女性部が主体**となり、規格外えだまめのむき豆や、漬物等を製造。学校給食、保健施設、直売所に提供するだけでなく、**仙台市や首都圏にも販路を拡大**。



農業の競争力強化と持続的な雇用を創出

- 栽培品目を拡大し、**経営の多角化を実現**するとともに、**高収益作物の販売額が約4割増加**。



- 農産加工品の製造や販売の拡大とともに、**持続的な雇用を創出して、女性や高齢者が幅広く活躍**。
(H24(法人設立時):13人 → H30:22人)

＜法人Aの雇用者数の推移＞

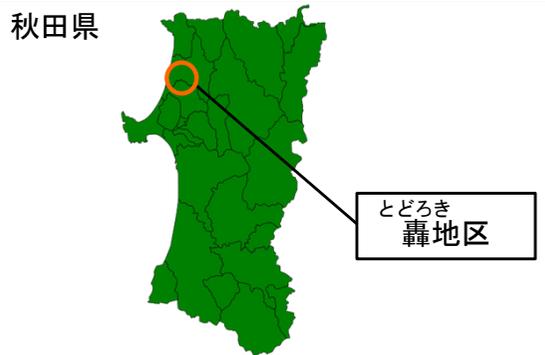
	H24		H30	
	男性	女性	男性	女性
50代	0	0	1	0
60代	5	5	8	7
70代	0	3	2	4
計	5	8	11	11

【工夫のポイント】

- ほ場整備と農地中間管理機構による農地集積、園芸メガ団地等の整備による産地づくりを三位一体で推進する「あきた型ほ場整備」を実施。
- ほ場整備事業を契機に、地域ブランド「白神ねぎ」の生産が拡大。
- 高収益作物の生産拡大による地域雇用の創出。JAあきた白神の無料職業紹介所等で労働力を確保。
- 周辺地域における高収益作物の導入や生産拡大に寄与。

【取組地域の概要】

○位置 のしろし
秋田県能代市(過疎等)



- 主要作物
・水稻、大豆、ねぎ、うど 等
- 主な支援施策
・県営農地整備事業(経営体育成型)
(H24~H30)
- ・園芸メガ団地育成事業(H26~H28)

大区画化・汎用化による営農の省力化と高収益作物の生産拡大

ほ場の大区画化、排水性の改善により大型機械を導入し営農の省力化を図るとともに、水田の汎用化等により高収益作物の生産が拡大。



基盤

基盤整備
(H24年~H30年)

【整備前】

ほ場の区画は10aと小さく用排水路は土水路で農道も狭小であり、非効率なほ場形態。排水不良のため、高収益作物の生産拡大が困難。



地域ブランド「白神ねぎ」の生産拡大

- 生産基盤の整備と併せ、ねぎの集出荷調製作業舎等の整備や農作業機械を導入。
- 地域ブランド「白神ねぎ」の生産が拡大。



生産現場

周辺地域へ取組が波及

- 周辺に効果が波及し、中山間地域で事業実施中の地区でも、ねぎやうど等の高収益作物の生産が拡大。



地域の取組

多様な作型と加工・業務用ねぎの契約出荷

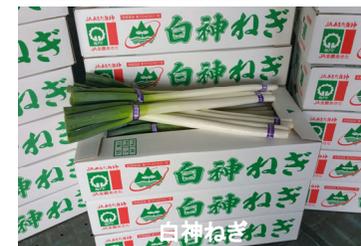
- 整備した施設を活用し、ねぎの周年栽培を実現。
- 価格が安定している加工・業務用ねぎを契約出荷。



加工・流通

「白神ねぎ」の販売額向上と地域の雇用創出

- 地域の4経営体による「白神ねぎ」の販売額が事業を契機に約9倍に増加。
- 首都圏での「白神ねぎ」ブランドの知名度向上に寄与。
- 法人では新規就農者の受入れを実施し、地元の若者を地域農業の後継者として育成。
- 女性や高齢者など地域の雇用を創出。



【対策のポイント】

- 農業従事者の高齢化・労働力不足が進み、省力化や作業の効率化が求められている。
- **GNSS基地局の設置や農業用機械への自動操舵システムの導入**により作業効率の向上を図ったことで、余剰労力を生み出し、**高収益作物の作付面積を拡大**。

【取組地域の概要】

○位置 よこてし
秋田県横手市

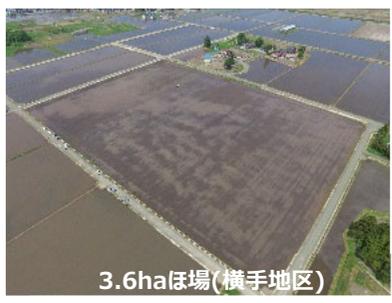


- 事業名
農地耕作条件改善事業（R2）
- 主要作物
水稲
- 受益面積 39.7ha
- 主要工事
GNSS基地局設置:1基
受信感度調査:1式

基盤

農地の大区画化を契機としたスマート農業の導入

- 平成27年度から実施している農業競争力強化農地整備事業（横手地区、境町西部地区）により**農地を大区画化**。
- 農地の大区画化を契機に、**GNSS基地局を設置する等、スマート農業の導入が推進**された。

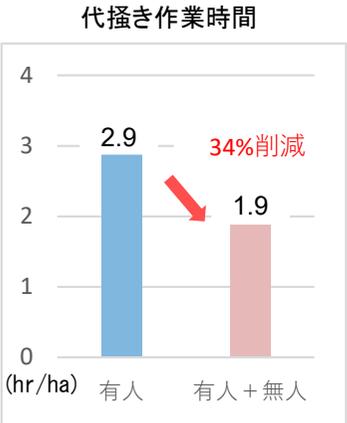


	スマート農業導入地域
	大区画化(横手地区)
	大区画化(境町西部地区)
★	GNSS基地局

対策の効果

作業効率の向上

- GNSS基地局の設置を機に営農法人において**自動操舵農機**(自動操舵システム搭載のトラクターや田植機、無人ロボットトラクター)の**利用を拡大し、作業時間を短縮**。



高い作業精度

- GNSS基地局から発信する補正情報を利用。
- **オペレーターの熟練度に左右されない**。
- 耕起、代掻き、田植え作業で**±2~3cm以内の高精度作業**。
- 耕起、代掻きの作業重複を最小化。

経営複合化

- キャベツやスイカなど**高収益作物の作付面積を拡大**

年度	R2	R3	R4
高収益作物の作付面積	3.0ha	4.0ha	5.0ha

【検証結果】
 ・2台での協調作業が可能
 ・作業時間の短縮
 ・オペレーターの負担軽減
 (代掻き 2.9時間/ha → 1.9時間/ha)

【工夫のポイント】

- 大区画ほ場整備と併せ、農地中間管理事業による農地集積、園芸メガ団地整備による産地づくりを三位一体で進める「あきた型ほ場整備」を実施。
- 営農の支障となる石礫を破碎処理し、高収益作物への転換を実現。
- 県内トップクラスのねぎ作付けにより、販売額向上を目指すとともに「末広ねぎ」としてブランド化を推進。
- 高収益作物の生産拡大による地域の雇用を創出。

【取組地域の概要】

○位置 かつのし
秋田県鹿角市

秋田県



すえひろ
末広地区

- 主要作物
・水稲、ねぎ、キャベツ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業(H27~R4)
・農地耕作条件改善事業(H30~)
・園芸メガ団地等大規模園芸拠点育成事業(R1~R2)

基盤

大区画化・汎用化による営農の省力化と高収益作物の生産拡大

ほ場の大区画化により営農の省力化を図るとともに、石礫の破碎処理や地下かんがいの導入により水田の汎用化を進め、高収益作物の生産を拡大。



大区画化されたほ場



ねぎ収穫状況

基盤整備
(H27年~)

【整備前】

- 地域内の水路の多くが用排兼用であり、道路・区画ともに狭小で作業効率が悪い。
- 高い地下水位により、排水不良が生じていた。



排水不良田



用排兼用土水路

生産現場

「高収益作物」の栽培を促進

- 園芸メガ団地事業により、ねぎの集出荷調製施設の整備や農作業機械を導入し、作付から収穫・箱詰めまで一貫した生産体制を確立。



選別・出荷施設

地域の取組

地域と特産品の認知度向上

- 関東圏との農業交流を通じて、鹿角市と「末広ファーム」をPRするとともに、地域活性化に寄与。
- 「末広産あきたこまち」をふるさと納税返礼品に採用。今後「末広産ねぎ」を追加予定。



ふるさと納税返礼品 末広産ねぎ

担い手

これからの農業を守る若い担い手の確保

- 地域雇用を積極的に進めるほか、機械化により「農作業＝重労働」のイメージが払拭されたことで、若年層の社員が増加（現在若手社員7名）。
- 女性雇用も積極的に推進し、2名の女性社員がねぎ担当として活躍。
- 農地中間管理機構の活用等により、地区内農地の93%を担い手に集積。



若手(担い手)の雇用

基盤整備とスマート技術が一体となった収益力の向上

- 機械化農業の取組と併せ、暗渠排水による地下水位の低下、石礫の破碎処理等の効果が発揮され、ねぎの収益が向上。

ねぎ収量(kg/10a) ねぎ収入(千円)



【出典：末広ファーム開取実績】

- ロボット、AI、IoTなどのデジタル技術を活用した「スマート農業」を取り入れることにより、更なる収量増、生産効率の向上及び生産コストの削減を目指す。



GPS自動操舵農機による畝立て



ドローンによる農薬散布

【工夫のポイント】

- 大区画化・汎用化により、営農効率の高いほ場を整備すると同時に、**担い手へ農地集積・集約化を促進**。
- **スマート農業を積極的に導入し、営農の更なる省力化を実現**。
- 水稲や大豆といった土地利用型作物と併せて、**ウドなどの高収益作物を導入し、収益性の向上を目指す**。

基盤

大区画化・汎用化による営農の省力化と高収益作物の導入

- ほ場の大区画化により**営農の省力化**を図るとともに、地下かんがいの導入により水田の汎用化を進め、**高収益作物の導入を推進**。



基盤整備 (R1年～)

【整備前】

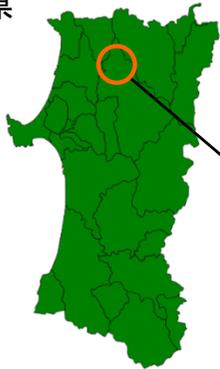
地域内の水路の多くが**用排兼用**であり、**道路・区画ともに狭小**で**作業効率が悪い**。また、高い地下水位による**排水不良**が課題。



【取組地域の概要】

○位置 きたあきたし
秋田県北秋田市

秋田県

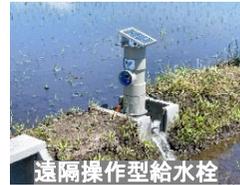


- 主要作物
・水稲、大豆、ウド 等
- 主な支援施策
・農地中間管理機構関連農地整備事業 (R1～)
・農地耕作条件改善事業 (H30～R4)

生産現場

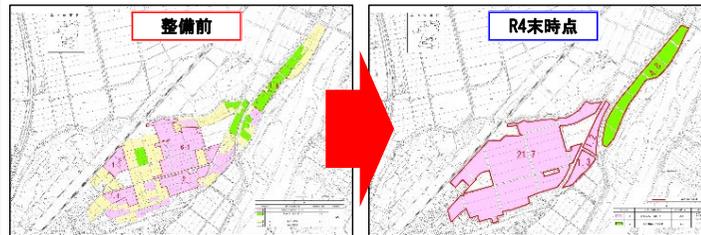
スマート農業技術の導入

- 遠隔操作型給水栓による**ICT水管理システム**を導入し、**水管理作業時間を削減**。
- 揚水機について、給水栓からの取水時のみ自動運転する**需要主導型のシステム**を導入することで、**電気料金を削減**。
- 地区内の用排水路をパイプライン化し、**ターン農道**を導入することで、**耕起や代掻き等の作業時間を削減**。



担い手

農業法人へ農地を集積・集約化

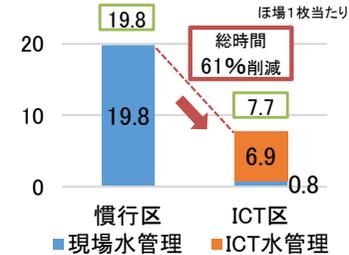


- 事業を契機に既設の農業法人に集積し、**集積率、集約化率ともに100%を実現**。

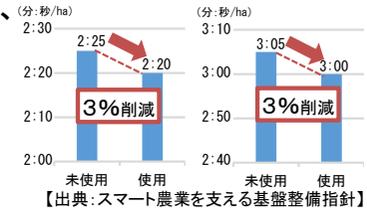
農作業労働時間の削減等

- ICT水管理システムの導入により、水管理の省力化が図られ、**作業時間を61%削減**。生産性の向上による**更なる高収益作物の導入**を目指す。
- ターン農道の導入により、**耕起及び代掻きの作業時間を3%削減**。ほ場内での旋回による枕地部の生育不良を防ぐことで、**単収増加等の効果**が期待。

水管理作業時間(h)の比較
ほ場1枚当たり



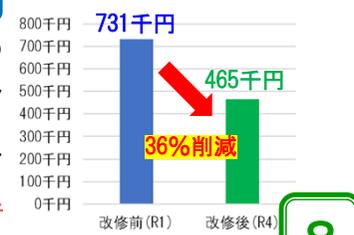
ターン農道使用による時間効果



揚水機電気料金の削減

- 遠隔操作型給水栓によるこまめな水管理及び給水栓からの取水時のみ自動運転する**需要主導型システム**の導入により、**揚水機の電気料金を36%削減**。

揚水機の年間電気料金(千円/台)



【出典：北秋田市土地改良区調べ】

【工夫のポイント】

- 大区画化・汎用化により、営農効率の高いほ場を整備し、**担い手へ農地集積を促進**。
- スマート農業を積極的に導入し営農の**更なる省力化を実現**。
- **作業時間の短縮**により、**高収益作物(玉ねぎ)**に取り組み、**複合経営を実践**。
- 農地の維持管理で支障となる法面を**地域の農地保全のために有効活用**。

【取組地域の概要】

○位置 ゆりほんじょう
秋田県由利本荘市

秋田県



まつがさき
松ヶ崎地区

○主要作物
・水稻、玉ねぎ、そば 等

○主な支援施策

- ・農業競争力強化農地整備事業(R1~)
- ・農地耕作条件改善事業(R2~R5)
- ・大規模園芸拠点整備事業(R5~)
- ※旧:園芸メガ団地事業
- ・最適土地利用総合対策事業(R5~)

基盤

農地の大区画化・汎用化による生産性の向上と高収益作物の導入

- ほ場の**大区画化**により営農の省力化を図るとともに、**地下かんがい**の導入により水田の汎用化を進め、高収益作物の導入を推進。



大区画化されたほ場 (平均0.5ha)



玉ねぎの作付状況

基盤整備

(R1年~)

【整備前】

地域内の**狭小な区画**による、低い生産性が課題。



(平均0.1ha)

生産現場

基盤整備を契機としたスマート農業の導入

- ほ場整備事業で**遠隔操作型給水栓14基**を導入。スマートフォンで水田状況確認(水温、水深等)が可能となり、**水管理時間を大幅に短縮**。



遠隔操作型給水栓

環境負荷低減

環境負荷低減を兼ねた防草シートの敷設

- **ソーラー発電機能**が付いた防草シートにより、草刈り面積を減少するとともに電動草刈機の電力を確保し、**二酸化炭素排出量を低減**。



防草シート (ソーラー発電機能付き)

地域の取組

地域経済循環を目指す取組

- 地元の小学校に野菜等の食材を供給し、**地産地消と食育を実施**。
- 外食産業向けの販路を拡大しているほか、国道沿いにある**法人所有直売所**による販売が好評。



給食イメージ

直売所

担い手

地域農業の将来を見据えた取組

- 農業法人への**集積率100%を実現**。
- 基盤整備を契機に**新規就農者3名**を受け入れ。



法人メンバー

複合経営および農地保全体制の確立

- 比内地鶏の飼育にも取り組み、冬期雇用と通年収入を確保。鶏糞を肥料に活用する**耕畜連携**を実践。
- **大規模園芸拠点整備事業**により、玉ねぎの乾燥調整施設整備や農作業機械を導入し、**一貫した生産体制を確立**。
- 防草シートをソーラー発電機能付きにしたことで、**草刈面積減少と農地保全用電力確保の両立**を実現。



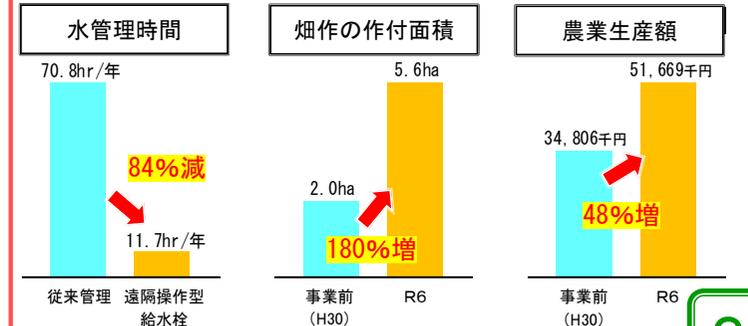
鶏糞散布



農作業機械

スマート農業実証を通じた省力化・生産力の向上

- 遠隔操作型給水栓の導入により、**水管理時間を削減**。
- 余剰労力を**高収益作物等の作付けに活用**。
- 複合経営の拡大により**農業生産額が増加**。



出典：秋田県農地整備課

① 女性理事の登用推進

◆女性理事登用1名につき
30万円を土地改良区へ支援



- >女性理事の所掌業務に要する経費
 - * 地域住民との交流促進
 - * ネットワーク活動
 - * 各種講習会等への参加など
- >その他男女共同参画推進に要する経費



「培った知識を活かして地域に貢献したい」
(大仙市大曲土地改良区)

◆女性理事登用の事例紹介

② 女性役職員のネットワーク化の推進

◆水土里ネット
女性の会の活動拡充

- 女性職員
- 女性役員
- 女性県職員など

講習会等の対象範囲を拡充

◆男女共同参画推進大会参加や女性の会
研修会の定期的開催



③ 役職員等意識向上対策

◆講習会の実施
(県内9会場)



◆組合員向けパンフの配布

④ 就業環境整備

◆相談窓口サービス実施 (県土連)

- >女性理事登用に向けた手続
- >ハラスメント相談
- >サービス環境等に関する相談



助言

フィードバック

効果

● サポート体制

男女共同参画推進チーム

- ・大学教授 (リーダー) ・改良区理事長
- ・県土連役員・県職員 (事務局: 県土連・県)

審議

ワーキンググループ

- ・改良区女性職員・県土連女性職員
- ・県女性職員ほか (事務局: 県)

情報収集分析

フィードバック

● 取組の成果

女性理事数の大幅増

